

SilkPerformer 9.0



リリースノート

Micro Focus
575 Anton Blvd., Suite 510
Costa Mesa, CA 92626

Copyright © 2012 Micro Focus. All rights reserved. SilkPerformer は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright © 2012 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2012-03-14

目次

SilkPerformer 9.0 リリース ノート	4
システム要件	5
インストール	7
SilkPerformer 9.0 の新機能	8
モバイル Web アプリケーションのテスト	8
Java Over HTTP のサポート	8
ブラウザ駆動型負荷テストの強化	8
SilkPerformer CloudBurst	9
改善されたワークフローと入門ガイド	10
すぐに使えるヘルプ	10
ユーザー アカウント制御 (UAC) への完全な準拠	10
使用技術の更新	11
ユーザビリティ機能の強化	11
SilkPerformer の既知の問題	13
SilkPerformer に関する一般的な問題	13
Performance Explorer の問題	14
TrueLog Explorer の問題	15
SAPGUI の問題	16
Citrix に関する問題	16
Oracle Forms の問題	19
Web の問題	20
ブラウザ駆動型負荷テストの問題	21
データベースに関する問題	22
GUI レベルのテストのサポート	23
解決済みの問題	25
更新と SupportLine	29
Micro Focus へのお問い合わせ	29
Micro Focus SupportLine に必要な情報	29
SilkPerformer のライセンス管理	30
テスト済みソフトウェア	32
サポートの終了	36

SilkPerformer 9.0 リリースノート

これらのリリースノートでは、ヘルプには表示されない場合もある情報について説明します。製品をインストールする前に、これらのリリースノート全体をお読みください。



注: このドキュメントには、外部の Web サイトへのリンクが多く記載されています。Micro Focus は、これらの Web サイトのコンテンツまたはそのサイトがリンクするいかなるサイトのコンテンツについて、責任を負うものではありません。当社では、リンクを常に最新状態に維持することを試みっていますが、Web サイトはその性質上、急に変更されることがあります。このため、当社は、Web サイトの予期したとおりの動作を常に保証するものではありません。

システム要件

以下の表は、SilkPerformer をインストールおよび実行するための、システム要件を示したものです。SilkPerformer のパフォーマンスとスケーラビリティの詳細については、「パフォーマンスおよびスケーラビリティのマトリクス」を参照してください。

ハードウェア要件

SilkPerformer のエージェントソフトウェア、もしくはコントローラとエージェントの両ソフトウェアを実行し、大規模負荷テストを実行するために SilkPerformer のポテンシャルを最大限に利用するには、お持ちのシステムが次の最小要件を満たしている必要があります。

表 1：負荷テスト

システム領域	要件
プロセッサ	Pentium IV もしくは同等の CPU
RAM	512 MB 推奨 (最小) 1 GB 推奨
仮想メモリ	RAM の 3 倍の仮想メモリ
ハード ディスク領域	コントローラ ソフトウェア インストールに 650 MB エージェントのみをインストールする場合に 170 MB 行う負荷テストのサイズに応じて、その結果ファイルのための十分な空き容量がお使いのハードディスク上にあるかどうか確認してください。
ネットワーク	TCP/IP を備えた Windows ネットワーク (リモート SilkPerformer エージェント コンピュータを利用する場合)
ネットワーク アダプタ	10 MBit 推奨 (最小) 高速 Ethernet 推奨

SilkPerformer の機能を、トラフィックの記録、スクリプティング、監視に使用する場合には、お使いのシステムが以下の最小要件を満たしている必要があります。

表 2：記録、スクリプティング、監視

システム領域	要件
プロセッサ	Pentium IV もしくは同等の CPU
RAM	256 MB
ハード ディスク領域	440 MB
ネットワーク	TCP/IP

ソフトウェア要件

SilkPerformer をインストールして実行するには、お持ちのシステムに、最小限のソフトウェア コンポーネント群が必要となります。

必要とされる個々のコンポーネントは、インストールの種類によって異なります。たとえば、SilkPerformer Java Explorer を実行するには、システムに Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7 のいずれかがインストールされていなければなりません。コンポーネントはそれぞれ該当するベンダーの Web サイトからダウンロードしてください。

- Microsoft .NET Framework ランタイム 4.0
- Windows Internet Explorer 7.0、8.0、9.0 (ブラウザ駆動型記録の場合)
- Adobe Acrobat Reader (ドキュメント参照のため)
- Citrix アプリケーションをテストするための Citrix XenApp Client 11、11.2、12.0 または Citrix Web Interface 5.1、5.2、5.3
- Java Explorer で Java アプリケーションをテストするための Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7

インストール

インストール、デプロイメント、ライセンス管理に関する情報については、『[SilkPerformer インストールヘルプ](#)』を参照してください。

SilkPerformer 9.0 の新機能

SilkPerformer 9.0 では、重要な機能強化と変更がされました。

モバイル Web アプリケーションのテスト

SilkPerformer は、すべての一般的なモバイル デバイスおよびアプリケーションの種類のプロファイルを使用して、モバイル Web アプリケーションのパフォーマンス テストをフル サポートします。モバイル用に最適化された Web サイトや社員にモバイル サポートを提供する企業が増加する中、負荷ピーク時でもモバイル Web アプリケーションを有効に実行できることへのニーズは、これまでになく高まっています。

SilkPerformer は、すべての一般的なデバイスおよびアプリケーションの種類の完全なプロファイル セットを備えており、PC またはモバイル デバイスを使用してテスト スクリプトを記録できます。

Java Over HTTP のサポート

SilkPerformer は、HTTP プロトコルを介してクライアントとサーバー間でオブジェクトを転送するために Java Object Serialization を利用する、アプリケーションのテストをサポートします。

一部のアプリケーションは、HTTP プロトコルを介してクライアントとサーバー間でオブジェクトを転送するために、Java Object Serialization を利用します。この通信は、シリアライズした Java オブジェクトの交換を基にしており、バイナリ形式のデータを使用します。つまり、Java Object Serialization とは、事実上バイナリ形式のオブジェクト表現を言います。

Java Object Serialization は、多くのアプリケーションで長年使用されてきました。詳細については、[Java Object Serialization Specification](#) を参照してください。

ブラウザ駆動型負荷テストの強化

指定した位置とマウス ボタンを使用した DOM 要素のクリック

次の 3 つの新しいブラウザ駆動型 Web 負荷テスト関数が追加され、指定した位置とマウス ボタンを使用して DOM 要素をクリックできるようになりました。左のボタンをクリックすると、クリックした要素タイプのデフォルトのアクションが実行されます。BrowserClick、BrowserDoubleClick または BrowserMouseMove 関数が期待通りに動作していないようであれば、代わりにそれぞれの新しい Native 関数を使用してください。

- BrowserNativeClick
- BrowserNativeDoubleClick
- BrowserNativeMouseMove

BrowserClick、BrowserDoubleClick および BrowserMouseMove 関数と異なり、これらの新しい関数は Windows API レベルのイベントを使用して、Java スクリプト イベントではなくマウス イベントをシミュレートします。

指定したロケータのすべての DOM 要素の検索

新しいブラウザ駆動型 Web 負荷テスト関数 BrowserFindAll が追加され、指定したロケータのすべての DOM 要素を検索できるようになりました。完全な DOM 階層の検索も可能です。

強化されたファイルダウンロード機能

ブラウザ駆動型負荷テスト スクリプト内でのファイル ダウンロードは、テスト対象の Web サイト、Windows Internet Explorer のバージョン、オペレーティング システムなどに応じて動作が異なることにより、問題が発生する恐れがあります。デフォルトの Windows Internet Explorer メカニズムをインターセプトする新しい BrowserDlgDownload 機能が備わったことにより、この機能が強化されました。新しいスクリプトを記録する場合は、BrowserDlgDownload が既存の BrowserFileDownload 関数に置き換えられます。

実際のファイル ダウンロードは、後続の BrowserClick 呼び出しなどによりトリガされます。ファイル ダウンロード処理は、BrowserDlgStop を呼び出し、同期して終了させる必要があります。ファイルをブラウザのキャッシュからローカル ディスクにコピーするかどうか、およびその方法は、実行されたテスト実行のタイプ、および BROWSER_OPT_FILEDOWNLOAD_SAVEFILE オプションの値に依存します。このオプションは、BrowserSetOption 関数で定義します。この関数は、BrowserDlgDownload 呼び出しの前に記述する必要があります。

JavaScript エラーのログと表示

ブラウザ駆動型負荷テスト中、再生モードまたは記録モードでリンクまたはボタンのクリックなどのアクションを行った際に JavaScript エラーが発生すると、LOG ファイルにエラーが記録され、TrueLog ウィンドウおよび出カウインドウの両方に警告として表示されます。

SilkPerformer CloudBurst

新しいクラウド地域

SilkPerformer 9.0 は、次の 3 つの新しいクラウド地域をサポートするようになりました。

- US-West-2 (米国、オレゴン州)
- AP-Northeast (日本、東京)
- SA-East (ブラジル、サンパウロ)

これらの新しい地域の他に、次の 4 つの地域が SilkPerformer 2011 で既に利用可能です。

- US-East (米国、バージニア州)
- US-West-1 (米国、カリフォルニア州)
- EU-West (欧州、アイルランド)
- AP-Southeast (シンガポール)

英語版と日本語版の SilkPerformer が、これら 7 つの地域すべてで利用できます。

Java over HTTP、FLEX/AMF3、Silverlight のサポート

SilkPerformer を使用したクラウド上での負荷テストは、以前のバージョンでは、Web アプリケーションのプロトコル レベル (HTTP) およびブラウザ駆動テストのみがサポートされていました。SilkPerformer 9.0 では、さらに Java over HTTP、FLEX/AMF3、および Silverlight アプリケーションを利用する Web アプリケーションのテストもサポートします。

Cloud Agent Manager 機能の強化

Cloud Agent Manager (CAM) では以下の点が改良されました。

- 全体的なパフォーマンスの向上がなされ、特にログイン/ログアウト時の CAM の応答性が良くなりました。
- **エージェントの開始** ダイアログ ボックスでは、入力グリッドが追加され、エージェントが開始される領域を定義できるようになりました。これにより、1 回のコマンドですべてのエージェントを開始できるようになったため、さまざまな領域にあるエージェントを迅速に開始できます。

- CAM の配色が新しくなり、モダンで軽量なルック アンド フィールに変わりました。推奨される GUI アクションは、青いボタンで表示されるようになりました。
- コンテキスト メニューと他の GUI 要素に小規模な変更が加えられました。たとえば、ステータス バーに更新アニメーションが表示されるようになりました。
- コンテキスト メニューで利用可能なコントロールは、概要列または特定のエージェントが選択されているかいないかによって、変わるようになりました。概要列が選択されている場合は、**開始/停止** オプションと **更新** オプションが利用可能です。特定のエージェントが選択されている場合は、エージェントを停止するオプションが利用可能です。

改善されたワークフローと入門ガイド

改善されたワークフロー プロセス

すべての **ワークフロー** ダイアログ ボックスがモダナイズされ、洗練された最新のデザインを特色としています。より読みやすくなったテキスト、カラフルなアイコン、より大きなフィールドとボタンなど、多くの点が改善され、ワークフロー プロセス内を移動する際のユーザビリティが向上しました。また、ワークフロー ダイアログでは、すぐに使えるヘルプを提供しています。このヘルプを使用することで、SilkPerformer を以前より簡単に開始できます。ダイアログのヘルプ リンクから、必要な情報を提供するヘルプにアクセスできます。

Web、BDLT、および SAP プロジェクトの入門ガイド

開始画面 の **入門ガイド** タブから、Web や BDLT、SAP のプロジェクトを簡単に作成できるようになりました。ワークフローに従って、完全に機能する SilkPerformer 負荷テストプロジェクトを簡単に設定し、実行することができます。

開始画面 ペインは、ユーザーが閉じるまで開いたままになります。または、**プロジェクト読み込み後に開始画面を閉じる** オプションがチェックされていると、プロジェクトの読み込み後に自動的に閉じられます。

すぐに使えるヘルプ

すぐに使えるヘルプ

新しく進歩したワークフロー ダイアログでは、すぐに使えるヘルプを提供しています。このヘルプを使用することで、SilkPerformer を以前より簡単に開始できます。ダイアログのヘルプ リンクから、必要な情報を提供するヘルプにアクセスできます。

ドキュメントのフィードバック

SilkPerformer オンライン ヘルプから、より手早く簡単に Micro Focus までドキュメントに関するフィードバックを送ることができるようになりました。

このトピックについてフィードバックを送信する リンクはオンライン ヘルプの各ページの下部に表示されます (英語版のみ)。あるトピックでリンクをクリックすると、そのトピックに関する情報が件名に記載されて本文が空白の電子メールが、デフォルトの電子メール アプリケーションで開きます。入力および送信いただいたフィードバックは、ドキュメント チームが再確認し、SilkPerformer ドキュメントの改善に使用します。

ユーザー アカウント制御 (UAC) への完全な準拠

SilkPerformer は Microsoft ユーザー アカウント制御 (UAC) ガイドラインに完全に準拠しています。SilkPerformer は、プロジェクトの定義からテストの分析まで、ワークフローのどの時点でも管理者権限が

不要のように設計されています。記録やリモート エージェント プロセスの開始などのアクティビティでも、通常のユーザー権限で行えます。


ただし、**System Configuration Manager** は、そのシステム管理機能により、UAC ガイドラインに従った管理者モードへの昇格が必要です。

使用技術の更新

SilkPerformer 9.0 では、以下の最新技術およびアプリケーションのテストをサポートしています。

FIPS 準拠のパスワード暗号化

Encrypt3DES 関数と Decrypt3DES 関数が追加され、連邦情報処理規格 (FIPS : Federal Information Processing Standard) への準拠、およびより高度なセキュリティ アルゴリズムの使用がサポートされるようになりました。

 **注:** Decrypt 関数と Encrypt 関数は残りますが、FIPS に準拠していません。

dynaTrace 4.0

SilkPerformer は、dynaTrace 4.0 をサポートするようになりました。

ユーザビリティ機能の強化

SilkPerformer 全体にわたって、以下のようにユーザビリティ機能が強化されています。

TrueLog Explorer 機能の強化

TrueLog Explorer では、たとえば、失敗した Java テストの実行時にどのクラス ファイルが欠けているかなど、**情報ペイン** で追加情報が表示されるようになりました (利用可能な場合)。

Cloud Agent Manager 機能の強化

Cloud Agent Manager (CAM) では以下の点が改良されました。

- 全体的なパフォーマンスの向上がなされ、特にログイン/ログアウト時の CAM の応答性が良くなりました。
- **エージェントの開始** ダイアログ ボックスでは、入力グリッドが追加され、エージェントが開始される領域を定義できるようになりました。これにより、1 回のコマンドですべてのエージェントを開始できるようになったため、さまざまな領域にあるエージェントを迅速に開始できます。
- CAM の配色が新しくなり、モダンで軽量なルック アンド フィールに変わりました。推奨される GUI アクションは、青いボタンで表示されるようになりました。
- コンテキスト メニューと他の GUI 要素に小規模な変更が加えられました。たとえば、ステータス バーに更新アニメーションが表示されるようになりました。
- コンテキスト メニューで利用可能なコントロールは、概要列または特定のエージェントが選択されているかいないかによって、変わるようになりました。概要列が選択されている場合は、**開始/停止** オプションと **更新** オプションが利用可能です。特定のエージェントが選択されている場合は、エージェントを停止するオプションが利用可能です。

ログ ファイルでパスワードを非表示にする

ログ ファイルでパスワードの文字を非表示にできる新しいセキュリティ機能が、SilkPerformer で追加されました。パスワードをログに表示しない機能が有効にされていると、HTML フォームのパスワード フィールドに入力されたテキストは、記録および再生ログ ファイル (*.xlg および *.log) でアスタリスク (

*)として表示されます。このチェックボックスをオンにするには、メニューバーで **設定 > アクティブ プロファイル** を選択して、**結果** アイコンの **全般** タブを選択します。

プロジェクトのエクスポート後に Windows Explorer を自動的に起動する

テストプロジェクトをエクスポートする場所を指定した場合、エクスポートの完了後に Windows Explorer でエクスポート場所を自動的に開くオプションを選択できるようになりました。**プロジェクトのエクスポート** ダイアログボックスで、**エクスポートした後に Windows Explorer で開く** チェックボックスをオンにします。

プロセス当たりの仮想ユーザー数設定の変更

設定 > システム の **コントロール** タブで **プロセス当たりの仮想ユーザー数** オプションが更新され、システム全体の設定ではなくなりました。プロジェクトがロードされていない場合、これらの設定は利用できず、**システム設定** ダイアログボックスでは無効として表示されます。この設定を有効にするには、プロジェクトを開く必要があり、オプションは設定で構成された特定のプロジェクトにのみ適用されます。

Microsoft Windows 7 の SilkPerformer タスクバー アイコン

Microsoft Windows 7 タスクバーでは、テストの実行中に SilkPerformer アイコンの色が変わってテストの進行状況を表示するようになり、テストの完了後は、通常の色に戻ります。

テスト結果の要約情報

結果 メニュー ツリーでテストにマウスを移動させると、日付と時刻、選択したワークロード モデル、エージェント、仮想ユーザー、およびエラー情報など、テストの実行の要約を表示します。

SilkPerformer の既知の問題

ここでは、SilkPerformer の既知の問題と該当する場合はその回避策について説明します。

SilkPerformer に関する一般的な問題

マルチバイト文字セットのサポート制限

問題：

マルチバイト文字セット/UTF-8/EUC-JP のプロトコルおよびテストのサポートは特定のアプリケーションの種類に制限されます。

解決策：

マルチバイト文字セット/UTF-8/EUC-JP のプロトコルおよびテストのサポートは以下のアプリケーションの種類に制限されます。

- Web アプリケーション テスト (プロトコル レベルおよびブラウザ駆動レベル)
- SAPGUI テスト
- Oracle Forms/Oracle Applications テスト
- Citrix テスト

64 ビット オペレーティング システムで ShopIt が動作しない

問題：

64 ビット オペレーティング システムに ShopIt をインストール後、ブラウザにアプリケーションが表示されません。

解決策：

64 ビット システムの IIS では、32 ビット アプリケーションを有効化する必要があります。これを行うには、次の手順を実行します。

1. Internet Information Services (IIS) をマネージャ開きます。
2. **アプリケーションプール** を選択します。
3. IIS で使用するアプリケーションプールを右クリックし、**詳細設定** を選択します。
4. オプション **32 ビット アプリケーションの有効化** を True に設定します。

光学式文字認識 (OCR) がマルチバイト文字に対して機能しない

問題：

光学式文字認識 (OCR) がマルチバイト文字に対して機能しない

解決策：

残念ながらこの問題の解決策はありません。SilkPerformer では、光学式文字認識を行うのにサードパーティの DLL を使用しており、この DLL は ASCII 文字のみをサポートしています。

SilkPerformer のコンテキスト ヘルプを Windows Vista で動作させる方法

問題：

SilkPerformer のコンテキスト ヘルプを Windows Vista で動作させる方法を教えてください。

解決策：

SilkPerformer では、GUI コントロールを右クリックして、**ヘルプ** を選択すると、GUI 機能に関する情報が表示されます。このコンテキスト ヘルプは Windows Vista で動作しません。これは既知の問題で、Windows Help プログラム WinHlp32.exe が Windows Vista に搭載されていないことと関連しています。この問題を解決するには、32 ビット .hlp ファイル用のプログラムを Microsoft ダウンロード センターからダウンロードします。詳細については、<http://support.microsoft.com/kb/917607> を参照してください。

Performance Explorer の問題

Performance Explorer で MIB のコンパイル時に発生するエラー「内部エラー: MIB ファイルをコンパイルできませんでした (構文を確認してください)」の解決方法

問題：

Performance Explorer で MIB をコンパイルしているときに、エラー 内部エラー: MIB ファイルをコンパイルできませんでした (構文を確認してください) が発生します。解決方法を教えてください。

解決策：

このエラーは、MIB ファイルでモジュール ID よりも後に宣言されている OID (オブジェクト ID) を使用している MIB ファイルをコンパイルしようとしたときに Performance Explorer で発生します。現在、Performance Explorer で MIB をコンパイルするには、モジュール ID よりも前に OID を宣言する必要があります。この問題を解決するには、テキスト エディタで MIB を編集し、モジュール ID よりも前に宣言されるように OID を移動します。

エンタープライズ OID が MIB ファイルから切り取られ、モジュール ID の前に貼り付けられた JVM Management MIB ファイルの抜粋：

```
-- Enterprise OIDs
-----

--      internet          OBJECT IDENTIFIER ::= { iso(1) org(3) dod(6) 1 }
--      private          OBJECT IDENTIFIER ::= { internet 4 }
--      enterprises      OBJECT IDENTIFIER ::= { private 1 }
sun      OBJECT IDENTIFIER ::= { enterprises 42 }
products OBJECT IDENTIFIER ::= { sun 2 }
jmgt     OBJECT IDENTIFIER ::= { products 145 }
-- experimental      OBJECT IDENTIFIER ::= { jmgt 1 }
standard OBJECT IDENTIFIER ::= { jmgt 3 }
```

```
jsr163      OBJECT IDENTIFIER ::= { standard 163 }

-- Module Identity
-----

jvmMgtMIB MODULE-IDENTITY
  LAST-UPDATED "200403041800Z"
  -- Format is "YYYYMMDDhhmmZ"
  ORGANIZATION "Sun Microsystems, Inc."
```

MHT 概要レポートを Internet Explorer 7 で表示するとグラフィックが表示されない

問題：

MHT として保存されている概要レポートを Internet Explorer 7 で表示すると、画像が表示されません。

解決策：

Internet Explorer 6 または別のブラウザでレポートを表示します。

Performance Explorer を使用して監視しているときに JMX 測定値を取得できない

問題：

Performance Explorer を使用して監視しているときに JMX 測定値を取得できません。

解決策：

この問題が Windows 2003 マシンに影響している場合、以下の SilkPerformer 2007 と 2008 での既知の問題が原因である可能性があります。

JMX 監視は、ターミナル サービスがインストールされた Windows 2003 サーバーでは機能しません (31679)。

これは、SilkPerformer 2007 と 2008 のリリース ノートの「既知の問題」セクションに記載されています。これは、Eclipse での不具合 (#171413) が原因です。詳細については、<https://bugs.eclipse.org/bugs/> を参照してください。

この問題を解決するには、Windows 2003 マシンからターミナル サービスをアンインストールする必要があります。

TrueLog Explorer の問題

アクセス中のウイルス スキャナ ソフトウェアにより TrueLog Explorer がクラッシュすることがある

問題：

アクセス中のウイルス スキャナにより TrueLog Explorer がクラッシュすることがあります。

解決策：

ウイルス スキャナ ソフトウェアは、TrueLog Explorer のクラッシュやパフォーマンスの劣化など、さまざまな問題が発生する可能性があります。 負荷テストの間は、エージェント コンピュータおよびコントローラ コンピュータでウイルス スキャナ ソフトウェアを無効にすることを推奨します。

関連トランザクションがインクルード ファイルにある場合に視覚的なスクリプトの変更に失敗する

問題：

関連トランザクションがインクルード ファイルにある場合に、視覚的なスクリプトの変更に失敗します。

解決策：

BDH ファイルにトランザクションを移動しないでください。

ビジュアル ユーザー データ カスタマイズ機能がブラウザ レベル スクリプトで機能しない

問題：

ビジュアル ユーザー データ カスタマイズ機能が、ブラウザ レベル スクリプトで機能しません。

解決策：

この動作は仕様です。HTML フォーム名は HTML フォームおよび BDL フォームと一致している必要があるため、TrueLog Explorer は、WebPageSubmit 呼び出し (ページ ベースのブラウザ レベル API) によって送信されたフォームのみを考慮します。 TrueLog Explorer のビジュアル ユーザー データ カスタマイズ機能を使用してスクリプトをカスタマイズする場合、ページ ベースのブラウザ レベル API スクリプトを記録する必要があります。

SAPGUI の問題

コントロール位置情報を SAP から正しく取得できない

問題：

まれに、コントロール位置情報を SAP から正しく取得できないことがあります。 このため、TrueLog Explorer では、選択したコントロール矩形をスクリーンショットの正確な位置に表示できない場合があります。

解決策：

スクリーンショットの代わりにコントロール ツリーを使用します。

Citrix に関する問題

UAC がオンの状態のときに Citrix スクリプトがタイムアウトする

問題：

Citrix スクリプトの記録/再生時に 30 秒間遅延して、タイムアウト エラーが発生します。この遅延は、UAC がオンのときにのみ発生します。

解決策：

Citrix スクリプトの記録/再生を正しく行うには、UAC をオフにします。

Windows Server 2008 で Citrix スクリプトが失敗し、Workbench エラー「LoadtestController: 3317 - 仮想ユーザーのプロセスが終了しました」が発生する (Citrix クライアント ソフトウェア v10.2 以前)

問題：

Citrix クライアント ソフトウェア v10.2 以前を使用しているときに Windows Server 2008 で Citrix スクリプトが失敗し、Workbench エラー「LoadtestController: 3317 - 仮想ユーザーのプロセスが終了しました」が発生します。

解決策：

Windows Server 2008、2008R2、および Windows 7 で動作する SilkPerformer エージェントには、Citrix XenApp Plugin 11.2 以降を使用することをお勧めします。

Windows Server 2008 R2 と Windows 7 を実行している SilkPerformer エージェントで Citrix スクリプトが失敗し、TrueLog エラー「CitrixConnect(CitrixEngine: 6 - 接続に失敗しました、接続がタイムアウトしました)」が発生する (Citrix クライアント ソフトウェア v11.2 以降)

問題：

Citrix クライアント ソフトウェア v11.2 以降を使用しているときに、Windows Server 2008 R2 と Windows 7 を実行している SilkPerformer エージェントで Citrix スクリプトが失敗し、TrueLog エラー「CitrixConnect(CitrixEngine: 6 - 接続に失敗しました、接続がタイムアウトしました)」が発生します。

解決策：

System Configuration Manager を使用し、**アプリケーション** タブで、SilkPerformer エージェントにローカル アカウントを設定します。

マルチバイト文字を使用して CitrixKeyString 入力をカスタマイズすると、破損した入力がサーバーに送信される

問題：

マルチバイト文字を使用して CitrixKeyString 入力をカスタマイズすると、破損した入力がサーバーに送信されます。

解決策：

CitrixKeyString 関数の入力をカスタマイズするときには、キーボード入力がシミュレートされています。マルチバイト文字の場合、目的の文字の発音表記を入力する必要があります。コンパイラはコードページが正しく設定されていれば受け付けますが、マルチバイト文字をそのまま入力しても意味がありません。

半角/全角キーに対して無効な CitrixKey 関数が記録される

問題

半角/全角キーに対して無効な CitrixKey 関数が記録されます。

解決策

入力モードの切り替えに別のショートカットを割り当てるか、キーボードショートカットではなくマウスを使用します。詳細については、Microsoft IME の [詳細設定](#) ダイアログを参照してください。

Citrix 記録中に既存のセッションに接続すると、使用できないスクリプトが生成される

問題：

Citrix 記録中に既存のセッションに接続すると、使用できないスクリプトが生成されます。

解決策：

既存の Citrix セッションに接続すると、Citrix クライアントではすべてのウィンドウを認識しないので、同期関数はスクリプト化されません。必ず新しいセッションを記録してください。

Windows 2003 で Citrix OCR 用のフォント データベースを生成しようとする、SilkPerformer がクラッシュする

問題

Windows 2003 で Citrix OCR 用のフォント データベースを生成しようとする、SilkPerformer がクラッシュします。

解決策

この動作は、データ実行防止 (DEP) がインストールされ、すべてのプログラムとサービスに対して動作するように構成されている場合に起きることがあります。

DEP は、Windows XP Service Pack 2 と Windows 2003 Service Pack 1 で導入されました。これは、メモリに対して追加のチェックを行う一連のハードウェア技術とソフトウェア技術のことで、悪意のあるコードがシステムで実行されないようにすることができます。すべてのプログラムとサービスに対して DEP を有効にしているユーザーは、Citrix BDF スクリプトの実行中に DEP が原因で検証が失敗し、上記のエラーメッセージが報告されることがあります。

DEP が上記のエラーメッセージの原因であるかどうかを確認するには、以下の手順を実行します。

1. **マイ コンピュータ** を右クリックして、**プロパティ** を選択します。
2. **詳細設定** をクリックします。
3. **パフォーマンス** セクションの **設定** をクリックします。
4. **データ実行防止** をクリックします。

オプション ボタン **重要な Windows のプログラムおよびサービスについてのみ有効にする** が有効になっていることを確認してから、BDF スクリプトを実行し、同じエラーメッセージが報告されるかどうかを確認します。



注: DEP 設定を変更すると、コンピュータを再起動する必要があります。

Oracle Forms の問題

主要な Oracle Forms アプレット クラスをフックした後、そのクラスに依存しているその他の jar ファイルを JInitiator によってロードできない

問題

主要な Oracle Forms アプレット クラスをフックした後、そのクラスに依存しているその他の jar ファイルを JInitiator によってロードできません。

解決策

Oracle Forms または Oracle Applications を記録するときに、**JInitiator プロパティ** ダイアログで次の Java ランタイム オプションを定義します: "-noverify -mx128m" NoVerify を指定することで、このロード問題を回避できます。また、JInitiator 1.1.7.x のデフォルトの **仮想メモリ サイズ** は、16 から 64 MB です。オプション -mx128m は、仮想メモリ サイズを 128 MB に増やします。記録によって追加のメモリ オーバーヘッドが発生するので、この追加メモリが必要になります。OutOfMemory エラーが発生した場合は、この値をさらに増やすことができます。

Oracle Forms の記録中にブラウザがクラッシュする

問題

Oracle Forms の記録中にブラウザがクラッシュします。

解決策

Oracle Forms 6i を記録するときは、Java ランタイム設定で Java JIT (Just-In-Time コンパイル) を無効にすることをお勧めします。この理由は、Java 仮想マシンの JIT ライブラリー (symcjit.dll) が原因でブラウザがクラッシュする可能性があるためです。

Java JIT は、次のいずれかのオプションを使用して無効にできます。

オプション 1 : Oracle **JInitiator プロパティ** ダイアログの Java ランタイム設定で -DJAVA.COMPILER=NONE を定義します。この操作は、JInitiator と一緒にインストールされる

JInitiator コントロール パネルを使用して行う必要があります (Windows コントロール パネルでこのコントロール パネルにアクセスできます)。

1. JInitiator コントロール パネルを起動します。
2. DJAVA.COMPILER=NONE を **Java 実行時のパラメータ** テキスト フィールドに追加します。
3. **適用** をクリックします。

オプション 2 : [Oracle JInitiator プロパティ] ダイアログのチェック ボックスを使用して、Just In Time コンパイラを無効にします (バージョン 1.1.8.x 以降のみ対象)。

1. JInitiator コントロール パネルを起動します。
2. **詳細** タブを選択します。
3. **Enable Just In Time Compiler** チェック ボックスをオフにします。
4. **適用** をクリックします。

オプション 3 : 環境変数 JAVA_COMPILER=NONE を定義します。

1. **マイ コンピュータ** を右クリックして、**プロパティ** を選択します。
2. **詳細設定** を選択します。
3. **環境変数** を選択します。
4. **システム環境変数** で **新規** をクリックします。
5. **変数名** に JAVA_COMPILER を入力します。
6. **変数値** に NONE を入力します。
7. **OK** をクリックしてダイアログを終了します。

Web の問題

ブラウザ ウィンドウが既にある場合にブラウザ トラフィックの記録が動作しない

問題

ブラウザ ウィンドウが既にある場合にブラウザ トラフィックの記録は動作しません。

解決策

スクリプトを記録する前に、すべてのブラウザ ウィンドウを閉じます。

すべての Opera バージョンで記録が動作しない

問題 :

バージョン 8.0. 以降のすべての Opera バージョンで記録が動作しません。

解決策 :

記録のために、古い Opera バージョンまたは他のブラウザを使用してください。再生は、この問題に影響されません。

Windows Internet Explorer 8 の記録されたスクリプトが Windows Internet Explorer 9 で実行されない (逆の場合も同様)

問題

Windows Internet Explorer 8 の記録されたスクリプトが Windows Internet Explorer 9 で実行されません (逆の場合も同様です)。

解決策

Windows Internet Explorer 8 の記録されたスクリプトは、Windows Internet Explorer 8 を使用して実行します。Windows Internet Explorer 9 の記録されたスクリプトは、Windows Internet Explorer 9 を使用して実行します。

ブラウザ駆動型負荷テストの問題

ブラウザ駆動型負荷テストの IE 互換性

問題

Windows Internet Explorer (IE) 9.0 がインストールされている場合、IE7 標準モード (7000) 用の設定だけが正しく機能します。レジストリ設定は、正しく書き込まれますが、SilkPerformer 内の IE コントロールによって使用されることはありません。

解決策

この問題に対する回避策はありません。ただし、Windows Internet Explorer 8 がインストールされている場合、IE8 と IE7 モードを使用できます。

埋め込みドキュメントを持つスクリプトの再生に失敗する 場合がある

問題

PDF や Word 文書のようなダウンロード ファイルが起動したビューアまたは埋め込み ActiveX コントロールにより直接 Windows Internet Explorer 内で表示することができる場合があります。このようなドキュメントを含んだスクリプトを再生する場合、負荷テストが失敗またはハングする可能性があります。

解決策

この問題を回避するには、2 種類の方法があります。

- ドキュメント ビューアや埋め込み表示を可能にする Windows Internet Explorer アドオンをエージェント コンピュータ上で無効化または削除する。
- これらのドキュメントのサーバー レスポンス ヘッダーに "Content-Disposition=Attachment" が必ず存在するようにする。

データベースに関する問題

SilkPerformer で SQL 文の最後の文字が削除される

問題

SilkPerformer で、SQL 文の最後の文字が削除されます。

解決策

ODBC dclsql セクションでは、最後の文の後に空白文字または復帰改行文字が必要です。スクリプトファイルの最後の SQL 文の後に空白文字がない場合、SilkPerformer によって、SQL 文の末尾が切り落とされます (最後の文字が削除されます)。

例

```
dclsql
...
order by p_lastname,p_zip; ! WHITE SPACE NEEDED HERE !
Space or Carriage Return required otherwise the following error occurs:
Error OdbcPrepare ODBC: 5 - ODBC error, S0022 (207): [Microsoft][ODBC SQL Server
Driver][SQL Server]Invalid column name "p_zi".
*** Virtual user stopped *** Severe API error (SEVERITY_PROCESS_EXIT)
```

レコーダが非互換データベース スクリプトを生成する

問題

レコーダにより、非互換データベース スクリプトが生成されます。たとえば、データベース スクリプトをコンパイルするときに、エラー メッセージ コンパイル エラー LEX 18: /* comment is not closed before end of file が発生します。

解決策

これは、現在、SilkPerformer で既知の問題です。スクリプトの SQL コメントで文字 /* が表示され、この文字はブロック コメントで使用されるため、この問題は発生します。SilkPerformer では、スクリプトの */ で、閉じるためのブロック コメントシーケンスの存在が想定されています。この問題を解決するには、スクリプトの SQL コメントで */ シーケンスを探し、両方の文字を削除します。これらは単なるコメントのため、テストには影響を及ぼしません。次に、このような文字が使用されている SQL コメントの例を示します。

```
/**
  TMain_SQL004:
  insert into /
*my_person(p_no,p_opening,p_title,p_firstname,p_lastname,p_aline1,p_aline2,p_zip,p_district)
values(?, ?, ?, ?,
      ?, ?, ?, ?, ? );
**/
```

代わりに、SQL コメントがスクリプト化されないようにするための設定が SilkPerformer にあります。これを行うには、**設定 > アクティブ プロファイル > 記録 > スクリプト > プロトコル** に移動し、**SQL コメント** チェックボックスをオフにします。

リモート エージェントで OCI 8 スクリプトを再生できない

問題

LOB データをデータベースに書き込む OCI 8 アプリケーションを記録しているときに、再生中にデータを使用可能にするために、Recorder によって、これらのデータが保存されるプロジェクト ディレクトリにファイルが生成されます。これらのファイルの名前は LOB_xxxxxxx.dat のようになります。ただし、リモート エージェントでは、再生中にファイルは使用できませんので、再生エラーが発生します。

解決策

リモート エージェントでスクリプトを実行するために、プロジェクトの Data Files セクションに生成された DAT ファイルを手動で追加します。

データ スクリプトの再生時に OCI 再生エンジンがエラーを生成する

問題

SQL ステートメントに「--」で始まる表記にコメントが含まれる場合、OCI 再生エンジンによって、紛らわしいエラー メッセージを示すエラーが生成されます。これは、プロファイル設定 **記録 > スクリプト > プロトコル > SQL のトリミング** が有効な場合、レコーダによって、SQL 文から改行が削除されるためです。

解決策

コメント テキストの末尾を見つけて、スクリプトの dclsql セクションの文に改行を挿入するか、または、設定 **記録 > スクリプト > プロトコル > SQL のトリミング** を無効にし、アプリケーションを再記録します。

マルチバイト文字が含まれている場合、記録されたスクリプトに不完全な SQL 文が生成されることがある

問題

マルチバイト文字が含まれている場合、記録されたスクリプトに不完全な SQL 文が生成されることがあります。

解決策

スクリプトの SQL 文を手動で調整します。

GUI レベルのテストのサポート

無効なログイン資格情報を指定すると、接続試行がタイムアウトする (エラーメッセージは表示されない)

問題

無効なログイン資格情報を指定すると、接続試行がタイムアウトします。対処方法を示すエラーメッセージは表示されません。

解決策

有効なログイン資格情報を指定する必要があります。

解決済みの問題

以下の問題が、SilkPerformer9.0 において修正されました。

問題番号	説明	メモ
RPI 1083111	NTLM 認証サイトに対するブラウザ駆動型スクリプトの再生は、 クライアントの表示 オプションを選択した場合は成功しますが、選択していない場合は次のエラーが表示されます。 BrowserNavigate BrowserEngine: 32 - Internet Explorer の要求に失敗しました、不明 (0x80070005)	
RPI 1082788	特定の環境下では、複数のタブを開くブラウザ駆動型テストで、 BrowserCloseWindow 関数を使用してタブを閉じることができません。	
RPI 578314	CSV ファイル エディタの 名前を付けて保存 関数では、元のファイルに上書きするのではなく、カスタム データフォルダにファイルが保存されます。	
RPI 1075650	ブラウザ駆動型の負荷テストでは、ユーザー アカウントを使用してエージェントを実行することをお勧めしません。	ドキュメントが更新され、本件について説明されています。
RPI 1076722	プロキシ経由での NTLM 認証サーバーに対するスクリプトの再生は動作しません。	新しいパラメータ WEB_OPT_USE_URLHOST_AS_SPN が WebSetOption 関数に追加されました。
RPI 1078105	URL が Browser Application に入力されると、テスト対象のアプリケーションは本来のようにレンダリングされません。	
RPI 1078223	ターミナル エミュレーション - TrueLog Explorer により誤った場所にコードが配置されました。	
RPI 1079710	サイレント アンインストール ドキュメントがありません。	
RPI 1079875	Eclipse の統合に関するドキュメントの更新。	Eclipse プラグイン ドキュメントが更新されました。デフォルト値を上書きして BDL スクリプトで JavaSetOption 関数を使用する方法を説明しています。

問題番号	説明	メモ
RPI 1079940 / 1080319	m_scorelib.dll を使用すると、.NET Explorer でクラッシュが発生します。	
RPI 1079934 / 1079874	dynaTrace を有効にして、アニメーションモードで TryScript を実行すると、空の TrueLog が開きます。	
RPI 1080148 / 1079022	負荷テストを中止しようとする、エージェントの実行可能ファイル (perfLtcAgent.exe) が散発的にクラッシュします。	
RPI 1080175	BDLT 再生のキャッシュの問題 (BrowserStart でクリアされたキャッシュ)。	
RPI 1080236	CitrixWindowBringToTop コマンドを含む Citrix テスト スクリプトを実行すると、システムがクラッシュし、次のエラーメッセージが表示されます。LoadtestController: 3317 - 仮想ユーザーのプロセスが終了しました。	
RPI 1082632	Web トラフィックの記録を試みた際に、代わりに TCP/IP 呼び出しが記録されます。	
RPI 1080308	GetLoadtest() で負荷テスト番号が取得されません。	ドキュメントが更新され、GetLoadtest() がどのように機能するか詳細に説明されています。
RPI 1080384 / DE1944	リアルタイム測定値 (RTM : real-time measures) が有効にされると、負荷テストが最後にデッドロックとなります。	
RPI 1080511	Citrix Recorder および Citrix クライアントが Citrix Web インターフェイスで起動しません。	SilkPerformer Citrix Recorder が一時 ICA ファイルを ¥ SilkPerformer 2011 ¥ temp ¥ フォルダに保存しようしますが、Microsoft Windows 7 と Microsoft Windows Vista UAC への準拠の変更により、このディレクトリ構造が変更されました。回避策として、Temp フォルダを SilkPerformer インストール フォルダ内に作成します (たとえば、%LOCALAPPDATA% ¥ Silk ¥ SilkPerformer 2011 ¥ Temp)。
RPI 1080546	perfBrowserApp.exe を対話的に使用できません (ブラウザ アプリケーションで認証が機能しません)。	

問題番号	説明	メモ
RPI 1080733 / DE2003	リモート エージェントのインストール中に指定されたパスワードがセットアップで保持されません。	
RPI 1080817	監視間隔グラフが 10 秒間隔でリセットされます。	Performance Explorer ドキュメントが更新され、標準的な動作が説明されています。
RPI 1080969	SilkPerformer 2011 が 負荷 テスト完了後にクラッシュします。	
RPI 1081313	Microsoft Silverlight への変換が失敗し、記録ログにエラー メッセージが表示されます。	
RPI 1081434	負荷テスト中に 2,000 仮想ユーザーの記録に達すると、ステータス メッセージ リソースを待機 - データファイル <File Name> をロックが表示されます。そしてトランザクション ビジー時間が長くなり、次のメッセージが表示されます。RESERR: 178 - インデックスが関数 %1 の範囲外です。	行カウンタを増やす専用のエージェント/コントローラ関数が追加されました。
RPI 1081516	SilkPerformer 2011 ホットフィックス 7 をコントローラ コンピュータと エージェント コンピュータの両方に適用後、コントローラとエージェントの通信で 暗号化 (SSL) オプションを有効にすると、エラーが発生します。	
RPI 1081562	動的ワークロードを構成する ダイアログ ボックスを改善。スクリプト名、プロファイル名、ユーザー グループ名がウィンドウに表示されるようになりました。	
RPI 1081660	クラウド エージェントで [自動割り当て] オプションを無効にしても、テスト スクリプトの更新後にまた有効化されます。	
RPI 1081725	非 ASCII 文字をパラメータとして Web サービスに渡すと、replay.log ファイルで HTTP レスポンス データが表示されません。	
RPI 1081742	SilkPerformer 2011 ホットフィックス 7 をコントローラに適用してから SilkPerformer のバージョンをアップグレードまたはエージェント マシンにパッチをあてた後、Silk Launcher Service が開始されません。警告： Silk Launcher Service を開始できませんでした というメッセージが表示されます。	

問題番号	説明	メモ
RPI 1081882	仮想ユーザーの記録したログでは、SSL の詳細が以前の SilkPerformer のバージョンより少なくなっています。	
RPI 1081964	Remedy のスクリプトでカスタマイズを完了した後、TrueLog Explorer で次のエラーが発生します。 WebRemeRPI 1081964 dyBackChannelUrl(WebEngine: 12 - 指定されたパラメータが無効です	
RPI 1081987	エージェントのみの SilkPerformer インストールの際に、いくつかのファイルがインストールされず、それが原因で SNMP 測定値の監視スクリプトの実行時にエラーが発生します。	
RPI 1082074	チュートリアルの更新。Rumba のインストール場所を変更。	補足の (その他の) チュートリアル ガイドが更新され、Rumba の正しいインストール場所を示すイメージが掲載されています。
RPI 1082214	WebSetTimeout 関数を使用すると、WEB_TIMEOUT_RECV パラメータ オプションが 500 ミリ秒ごとに増加してしまいます。	
DE1874	WebEngine がシャットダウン時にクラッシュします。	
DE1889	Cloud Agent Manager が遅い。	
DE1916	結果を解析できません。	
DE2052	System Configuration Manager のサービスパスワードが使用できません。	
-	SAP eCATT のいくつかの問題が修正されました。	
-	SAPGUI でのコンボ ボックス処理が正しく実行されません。	

更新と SupportLine

当 Web サイトでは、最新の問い合わせ電話番号および住所の詳細を提供しています。

Micro Focus へのお問い合わせ

Micro Focus は、世界的規模のテクニカル サポートおよびコンサルティング サービスを提供します。すべての顧客のビジネスを成功に導くために、信頼できるサービスをタイムリーに提供するように Micro Focus はワールドワイドのサポート体制を整えています。

保守およびサポート契約を結んだすべてのお客様、および製品を評価中のお客様は、カスタマ サポートを受けることができます。弊社の熟練したスタッフが、可能な限り迅速に専門家としてお客様の質問にお答えします。

<http://supportline.microfocus.com/assistedservices.asp> にアクセスするか、またはメールを supportline@microfocus.com に送信して、Micro Focus SupportLine と直接連絡できます。

また、<http://supportline.microfocus.com> の Micro Focus SupportLine では、最新のサポートに関するニュースや、さまざまなサポート情報を得ることができます。このサイトに初めてアクセスした場合は、ユーザー登録が必要な場合があります。

Micro Focus SupportLine に必要な情報

Micro Focus SupportLine をご利用の場合は、可能な限り次の情報を提供ください。情報が多ければ多いほど、Micro Focus SupportLine はお客様に適切なサービスを提供できます。

- 問題の原因と思われるすべての製品の名前およびバージョン番号
- 使用しているコンピュータの製造元およびモデル
- システム情報 (オペレーティング システムの名前やバージョン、プロセッサやメモリの詳細など)
- 問題の詳細な説明 (問題の再現手順など)
- 発生したエラー メッセージ
- ソフトウェア サポート識別番号 (SHIN) (一部の国でだけ使用されているため、使用している場合にだけ必要)
- お客様のシリアル番号

これらの番号は、Micro Focus から受け取った Electronic Product Delivery Notice 電子メールの件名および本文に記述されています。

SilkPerformer のライセンス管理

このセクションでは、SilkPerformer のライセンス ポリシーの取得方法と、SilkMeter のインストール方法について説明します。SilkMeter をインストールするには、管理者権限を持っている必要があります。



注: SilkPerformer には、SilkMeter バージョン 2008 以降と SilkPerformer ライセンス ポリシーが必要となります。

SilkMeter のインストールは、ライセンス サーバー 1 つにつき 1 回です。複数のライセンス サーバーを持っている場合には、複数のライセンス ポリシー ファイルが必要となります。各ファイルは、それぞれ特定のライセンス サーバーに関連付けられています。1 つの SilkMeter ライセンス サーバーが、複数の製品のためのライセンス ポリシーを処理することができます。

SilkPerformer ライセンス ポリシーを既にお受け取りの場合には、そのライセンス ポリシーをライセンス サーバー上へインストールしてください。ライセンス ポリシーをまだ受け取っていない場合には、ライセンス ポリシーを生成します。

ライセンス情報

SilkPerformer 9.0 には、新たに 9.0 のライセンスが必要です。バージョン 9.0 へのアップグレード処理中に以前のバージョンの SilkPerformer を実行する場合、古いライセンスを 90 日間ご利用いただくことができます。

SilkPerformer のライセンス モデルは、仮想ユーザー タイプ (VUser タイプ) に基づいています。利用可能な VUser タイプである、Web、標準、プレミアム には、次の SilkPerformer のアプリケーションの種類があります。

VUser タイプ	アプリケーションの種類
Web	Web ブラウザ駆動 HTTP(S) (Web ブラウザ低レベル) HTTP(S)/HTML (Web ブラウザ高レベル) HTTP(S)/XML (Web サービス, SOAP) Silverlight モバイル SAP NetWeaver WebDAV (MS Outlook Web Access) 電子メール (SMTP/POP) FTP TCP/IP UDP AMF0/AMF3/FLEX DLL インターフェイス
標準	Web すべてとそれに加えて : .Net Add-On Java Add-On

VUser タイプ	アプリケーションの種類
プレミアム	DB2-CLI Add-On OCI Add-On ODBC Add-On Visual Basic Add-On (Framework) ディレクトリ サーバー (LDAP) CORBA Add-On 標準 すべてとそれに加えて : GUI レベルテスト (SilkTest 4Test スクリプト) Remedy Web ARS SAPGUI Add-On for SilkPerformer Oracle Applications/Forms Add-On PeopleSoft Add-On Siebel Add-On Citrix Add-On ターミナル エミュレーション (緑画面) Add-On Tuxedo/ATMI Add-On


テスト済みソフトウェア

このセクションでは、SilkPerformer がテストされたソフトウェアの一覧を示します。

システム領域	テスト対象
オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft Windows XP 32 ビット サービス パック 3• Microsoft Windows XP 64 ビット サービス パック 2• Microsoft Windows Server 2003 32 ビット サービス パック 2• Microsoft Windows Server 2003 64 ビット サービス パック 2• Microsoft Windows Server 2003 R2 32 ビット サービス パック 2• Microsoft Windows Server 2003 R2 64 ビット サービス パック 2• Microsoft Windows Vista 32 ビット• Microsoft Windows Vista 64 ビット• Microsoft Windows Server 2008 32 ビット• Microsoft Windows Server 2008 64 ビット• Microsoft Windows Server 2008 R2• Microsoft Windows 7 32 ビット• Microsoft Windows 7 64 ビット
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">• Windows Internet Explorer 6.0、7.0、8.0、9.0• Mozilla Firefox 3.0 以降• Google Chrome• Apple Safari <p>ブラウザ駆動型負荷テストの場合：</p> <ul style="list-style-type: none">• Windows Internet Explorer 7.0、8.0、9.0
ターミナル エミュレーション サポート	<ul style="list-style-type: none">• AttachMate Extra 8• AttachMateWRQ 13.0• Distinct IntelliTerm 8.1• Ericom Powerterm Pro v8.8.1• HummingBird_Exceed 11.0 (ソケットプロキシを介してフック)• JProtector 4.5.2.0• MochaSoft 5.3 (ソケットプロキシを介してフック)• NetTerm 5.1.1• Nexus Terminal 5.3• PassportPC2Host 3• Quick3270 3.73• Rumba 7.4• Rumba 8• SDI TN3270 Plus v2.4• SecureCRT 1.0

システム領域	テスト対象
ERP/CRM サポート	<ul style="list-style-type: none"> • TeraTermPro 2.3 • TN5250_sourceforge 0.17.3 • TNBridge <p>SAPGUI クライアント :</p> <ul style="list-style-type: none"> • SAPGUI クライアント 620、パッチ 44、50、66 (推奨)、20 • SAPGUI クライアント 710 • SAPGUI クライアント 720 <p>PeopleSoft システム : PeopleSoft 8.0、8.3、8.4、8.8</p> <p>Siebel システム :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Siebel 6.3 (MS SQL Server 使用) • Siebel 6.3 (IBM DB2 使用) • Siebel 6.3 (Oracle 使用) • Siebel 7 • Siebel 8.0、8.1 <p>Clarify システム : Clarify eFrontOffice 8、10</p> <p>Remedy Web ARS : Remedy Web ARS 6.3、7.0、7.0.1、7.1、7.5、7.6、7.6.04</p>
Citrix サポート	<p>Citrix クライアント :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Citrix XenApp Client 11、11.2、12.0 • Citrix Web Interface 5.1、5.2、5.3 <p>Citrix サーバー :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Citrix Presentation Server 4.0、4.5 • Citrix XenApp 5.0、6.0 <p>オペレーティング システム :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows XP • Microsoft Windows Server 2003 • Microsoft Windows Server 2008
Oracle Forms サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Oracle Forms 6i、9i、10g、11g • Oracle Applications 11i、12i
SOAP サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft SOAP Toolkit 2.0 サービスパック 2 (SP2)、Internet Information Server 5 • Apache-SOAP バージョン 2.1、TOMCAT バージョン 3.1

システム領域	テスト対象
Web サービス サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Axis 1.x • Axis2 1.4、1.5 • GlassFish Metro 1.5
データベース サポート	<ul style="list-style-type: none"> • IBM Universal Database Systems 5.2、6.1、7.1 • Microsoft SQL Server 7.0、2000、2005、2008、2008 R2 • Oracle7 Server Release 7.3.2.2.1 • Oracle8 Enterprise Edition Release 8.0.3.0.0、8.0.5.0.0 • Oracle8ii Release 8.1.5、8.1.6、8.1.67 • Oracle Database 10g Release 2 • Oracle Database 11g Release 2 • Sybase SQL Anywhere Network Server 5.5.04
CORBA サポート	<ul style="list-style-type: none"> • BEA WebLogic Enterprise 5.0.1、6.0、6.1 • VisiBroker Java/C++ 3.x、4.x、5.x、6.x • Inprise Application Server 4.0 • Iona Orbix • IBM WebSphere 3.5、4.x、5.0 • Iona iPortal Application Server 1.1
TUXEDO サポート	<ul style="list-style-type: none"> • BEA TUXEDO Server 6.3、6.4、7.0、7.1、8.0、9.0 • BEA WebLogic Enterprise 4.2
Jolt サポート	BEA Jolt 1.1 (BEA TUXEDO Server 6.4 を含む)、1.2
Java サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Java Runtime Environment 1.2.2: classic および hotspot 1.0 • Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7 • IBM Java Development Kit 1.3 • Eclipse 3.2、3.3、3.4、3.5、3.6
.NET サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft .NET Framework 1.0、1.1、2.0、3.0、3.5、4.0 • Microsoft .NET Framework ランタイム 4.0 • Microsoft Visual Studio 2008 および 2010 • WCF Web サービス
リッチ インターネット アプリケーション (Web 2.0)	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Silverlight 4、5 • Adobe Flex 2、3、4 • Google Web Toolkit • ExtJS 3 • Eclipse RAP • script.aculo.us
SNMP サポート	<ul style="list-style-type: none"> • SNMPv2-MIB • RFC1213-MIB • RDBMS-MIB

システム領域	テスト対象
	<ul style="list-style-type: none"> • ORADB-MIB • httpServer-MIB • ftpServer-MIB • SUN-MIB • BEA-WEBLOGIC-MIB • APPSRV_MIB (NetDynamics) • SQUID-MIB <p> 注: Web 上で RFC およびベンダーの MIB を検索するには、The Internet Engineering Task Force を参照してください。</p>
ファイアウォール トンネリングのためのプロキシ サーバ —	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Proxy Server 2.0 • Netscape Proxy Server 3.5 (Netscape Proxy Server における不具合のため、HTTP トンネリングはサポートされていません) • WinGate 4.0.1 • Squid 2.3.STABLE4 (LINUX) • Squid 2.4 STABLE3 (LINUX) • Dante 1.1.6 (LINUX)
ソースコード管理インテグレーション (SCCI) サポート	<ul style="list-style-type: none"> • StarTeam (SCC インテグレーション パッチ付) 2005 R2、2006、2008 • Microsoft Visual SourceSafe 6.0c、6.0d、2005 • Merant Version Manager 8.0.2.0

サポートの終了

次のテクノロジーが廃止になり、このバージョンの SilkPerformer ではサポートされていないことに注意してください。

- ADO など、COM および COM+ から実施されるオブジェクトのテスト
- ストリーミング メディア (Microsoft Media Player、RealNetworks プレイヤーなど)

次のテクノロジーは、SilkPerformer の将来のバージョンではサポートされなくなります。

- Jacada